

# 平成 23 年度事業計画

## 1 . 図書・資料出版事業

### 1 ) 単行本等

書籍に関して、平成 23 年度は、年度版である「労務年鑑 2012 年版」の発行に加え、発売元として「労災年金受給者の知っておきたい手続きのしかた平成 23 年度版」(発行：労災サポートセンター)を制作する。

その他新規書籍としては、第 3 四半期中の発行を目途とし「労働基準」連載中の【いまさら聞けない!? 雇用のルール】(大内伸哉氏執筆)の単行本化を企図している。さらに、平成 18 年 3 月発行の「第 2 集 最新労働基準判例解説」の続編についても、判型・定価等を見直した上での、発行の検討を進めていく。

以上に加え、適宜、当研究会の使命に則した出版事業を展開していくこととする。

### 2 ) 定期誌

「労働基準」、「月刊 人事労務実務の Q & A」とともに、既存購読者の確保と新たな購読者層の開拓のため、引き続き、読者の求めるところに応じた情報の提供を心掛け誌面内容の充実を図っていくとともに、販売促進についても、より一層積極的に取り組むこととする。

## 2 . モラールサーベイ事業

受診企業の増加を図るため、NRK方式モラールサーベイ、NRCS(社内コミュニケーション診断)とともに、設問の見直し、診断図の改良、受診料金の改定等、診断内容及び価格の両面で顧客の満足を得られるよう配慮し、他の診断機関との競争力を高めるべく取り組んでいく。なお、診断期間の短縮にも繋がる、Webを用いた調査回答の対応については準備が整い、本年 6 月より稼動可能な状況となっている。

その他、特にNRK方式モラールサーベイについては、顧客獲得のため、診断実績の分析に加え、現在の社会情勢に留意し、渉外を掛ける業種を見極める。NRCSについては、診断員制度の活性化を図り、新規顧客の開拓に努める。

### 3 . 請負事業

引き続き、株式会社 企業通信社との連携を図りながら、顧客のニーズに応じた書籍・冊子等の企画制作業務を随時受託していく。